

クイズ第4問



冬の暖房、どれが省エネ？



じつ だんぼう ほうほう
実は、暖房の方法によって、

だ にさんか たんそ りょう おお ちが
出される二酸化炭素の量は大きく違います。

つぎ へやぜんたい あたた ばあい
では、次のうちで、部屋全体を暖める場合に、

だ にさんか たんそ りょう もっと すく だんぼう ほうほう
出される二酸化炭素の量が最も少ない暖房の方法

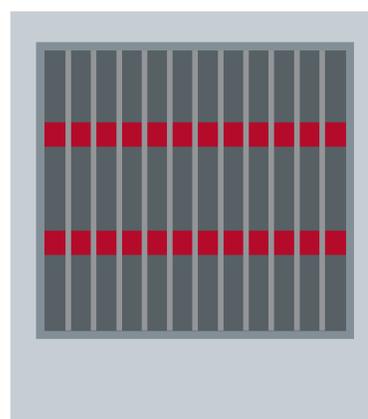
はどれでしょう。

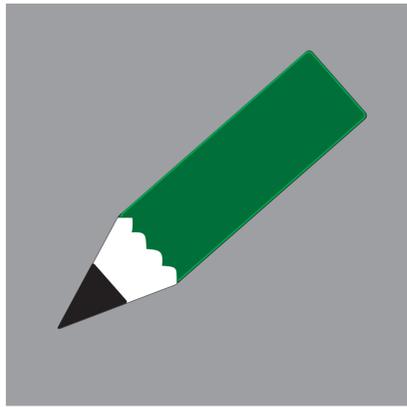
① 灯油ストーブ

② エアコン

③ ガスストーブ

④ 電気ストーブ





だいもん 第4問の

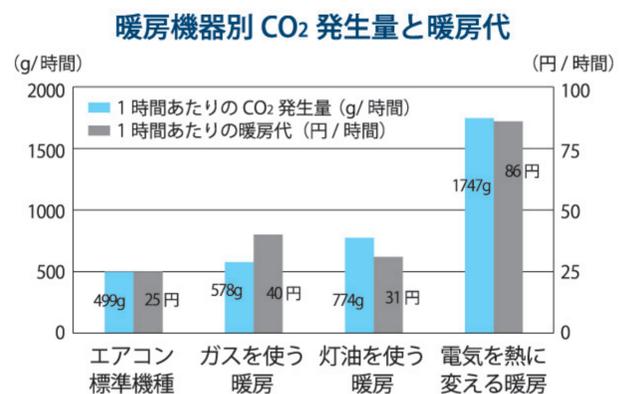
こたえ

くわしい説明 ~大人の方向け~

右のグラフは、暖房方法別の二酸化炭素排出量を比べたものです。効率の良いエアコンであれば、かなり少なくて済むことがわかります。

灯油を使うストーブ（石油ファンヒーターなど）やガスを使うストーブ（ガスファンヒーターなど）は、直接熱を生み出す機械であるのに対し、エアコンは、「室内機と室外機で熱のやりとりをする機械」で、最近のものであれば、かなり効率が良くなっているのです。

ただし、気温が氷点下になるような非常に寒いときには効率が落ちてしまうので注意が必要です。



※8畳間、外気温0℃時、木造住宅における暖房負荷による計算
電力CO₂係数 0.55kg-CO₂/kWh、エアコンのCOPは3.5として計算
出典) ひのでやエコライフ研究所推計

※注意: 上記の数値は、外気温が0℃の時を想定して算出されています。極端に寒い時にはこれより効率が落ちます(暖房できないわけではありません)
ひのでやエコライフ研究所の協力を得て当センター作成

答えはこちら

②エアコン

(寒すぎないときは)

エアコンの暖房が省エネ!



【参考】 有限会社ひのでやエコライフ研究所 web サイト